

第4次大仙市スポーツ推進計画（概要版）



1 本市のスポーツに関する現状

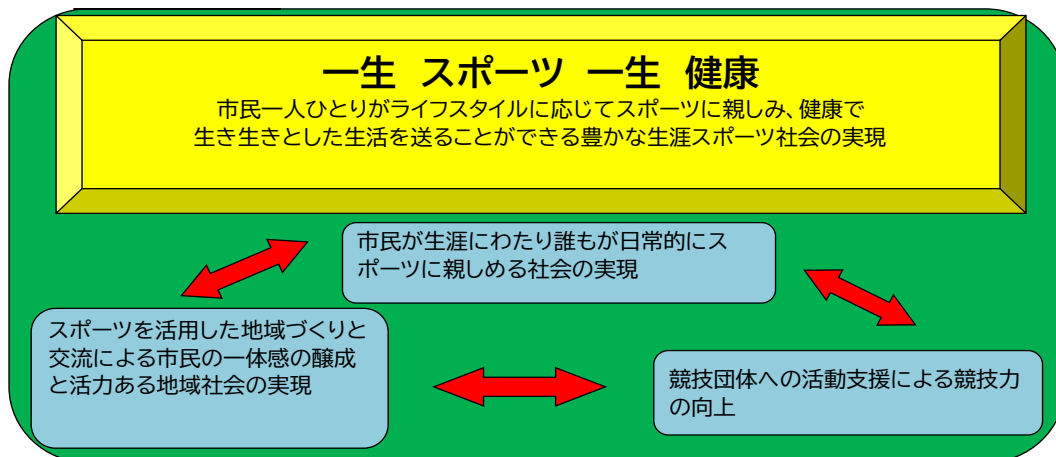
- 世代間でのスポーツに関する取組や意識に格差が存在
- 障がいの有無にかかわらず誰もがスポーツに親しむことができるインクルーシブな環境づくりが必要
- 健康長寿に向けたシニア世代の運動機会の創出が必要
- 人口減少・少子高齢化を背景とした児童・生徒数の減少に伴い、中学校の部活動の地域移行やスポーツ少年団の団数・団員の減少への対応が必要
- コロナ禍によるプロスポーツの大会観戦やスポーツ選手との交流機会の減少に伴う競技スポーツへの関心の停滞への対応が必要
- スポーツツーリズムの重要性を踏まえた500歳野球大会・スポーツ合宿の更なる推進が必要
- 地域の実情に合わせたスポーツ活動の促進に向けた総合型地域スポーツクラブ等との連携強化やスポーツ推進に必要な人材育成が必要
- 日常的に安心してスポーツを楽しむための施設の計画的な修繕・整備のさらなる推進が必要
- 施設の利用予約等についてデジタル化への対応が必要 等



2 課題の整理

- ①市民の誰もがライフステージに応じて様々な形でスポーツに参画できる環境づくりのさらなる推進
- ②子どものスポーツ活動・運動習慣づくりとその推進体制・環境づくりのさらなる推進
- ③競技スポーツの振興に向けた意識醸成と関連団体活動のさらなる促進
- ④交流人口の拡大や地域の活性化に資するスポーツツーリズムのさらなる推進
- ⑤地域の実情にあったスポーツ活動の促進とスポーツ施設の有効活用・計画的修繕整備の推進

3 基本理念と基本方針



4 基本目標と基本施策

本計画の基本理念や基本方針等を踏まえ、5つの基本目標とその目標を達成するために講じる基本施策を設定します。

基本目標1 ライフステージに応じた多様なスポーツ活動と健康づくりの推進

- (1)子育て世代・働く世代における気軽に取り組めるスポーツ活動の促進
- (2)障がい者のスポーツ参画の促進
- (3)高齢者における生きがいとしてのスポーツ活動の充実
- (4)成人の日常的なスポーツを通じた健康づくり



基本目標2 子どものスポーツ機会の充実と人材の育成

- (1)スポーツを継続してできる体制づくりと指導者の育成・確保
- (2)子どもの運動習慣の確立
- (3)スポーツ少年団等への活動支援



基本目標3 競技スポーツの振興

- (1)競技スポーツへの関心の向上
- (2)スポーツ関係団体への活動支援

基本目標4 スポーツによる地域の活性化と交流人口の拡大

- (1)500歳野球大会を活用した地域づくりと大仙市の魅力発信
- (2)スポーツイベントやスポーツ合宿等によるスポーツツーリズムの推進

基本目標5 地域のスポーツ活動の充実と環境の整備

- (1)総合型地域スポーツクラブと関係機関との連携
- (2)スポーツ施設の充実と利用しやすい施設の環境整備



5 重点施策

本計画の目標を達成するために特に力を入れて取り組む施策を「重点施策」として位置付け積極的に推進していきます。

1 スポーツツーリズムの推進

○「全国・全県500歳野球大会」について、今後も持続的発展ができるよう、共催・関係団体と連携した取組を一層推進するとともに、健康志向の高まりによるランニング人気が続いていることから、既存ロードレースのグレードアップを図っていきます。

2 スポーツ団体活動の維持・促進

○スポーツ団体の活動を持続的に発展させていくため、関係機関との連携のもと、大仙市スポーツ協会や市内各地の総合型地域スポーツクラブ、スポーツ少年団等に対し、引き続き必要のサポートを行っていきます。

3 スポーツDXの推進

○東京2020オリパラのスポーツ・レガシーの継承・発展に向けた重点施策、国の第3期スポーツ基本計画で総合的・計画的に取り組む事項の1つであるスポーツDXについて、積極的に取り組んでいきます。

○スポーツを「する」「みる」「ささえる」の実効性を高め、インクルーシブ社会を実現する観点から、新たな概念のスポーツの普及、デジタルプラットフォームを活用した情報発信など、スポーツの新たな潮流に対応していきます。